

# 育成複層林造成の取組について

## —岡山県新見市千屋地区（中国四国整備局管内）—

### ■所在地の概況

新見市（にいみし）は、岡山県の最西北端部に位置し、北は鳥取県日野郡日南町に、西は広島県庄原市に接しており、北部が中国山地、南部は吉備高原の一部をなしています。

新見市の北部の鳥取県境には、剣山、花見山等1,000m級の山々が連なり、市の土地面積の約9割が森林で占められており、花見山を源とする高梁川が熊谷川や西川等の支流を合流させながら南流しています。また、市の大部分がカルスト台地上に位置しており、井倉洞等の鍾乳洞に代表される石灰岩のカルスト地形が見られることが特徴となっています。

市内の森林の大半は民有林であり、戦後に植栽されたヒノキ等の人工林が約半数を占め、現在では主伐期を迎えた森林が約9割と多いことが特徴となっています。特に市北部の千屋（ちや）地区は、人工林率が高い典型的な山村地域であり、冬季の積雪量も多く、隣接する鳥取県日野郡日南町にはスキー場も所在しています。

また、この地域では、米作や野菜栽培のほか、起伏の多い地形を活かしたモモ、ブドウの栽培、冷涼な気候を活かしたリンドウ栽培が盛んであり、伝統的に牛の飼育が盛んであった千屋地区では、肉用和牛のルーツである「千屋牛（ちやぎゅう）」の飼育が特色となっています。



鍾乳洞井倉洞を擁する井倉峡（写真提供：新見市観光協会）

### ■水源林造成事業の経緯等について

千屋地区の森林は、元々は、稲作の田起こし等のために飼育されていた農耕用の牛の放牧地として、また、薪炭材生産や自家用材の供給等に利用されてきました。

昭和30年代頃までは、千屋地区の各農家では農耕用の牛が飼育されており、成地（なるち）牧野農業協同組合をはじめとした3つの牧野農業協同組合により、放牧場の所有や管理がなされていましたが、昭和40年代に入ると、各農家に耕耘機が普及したことにより農耕用の牛の飼育頭数が減少し、徐々に放牧地の荒廃が懸念されるようになりました。

成地牧野農業協同組合でも、当時は約80名の組合員が数百haに及ぶ放牧地を管理していましたが、牛の飼育頭数の減少に伴い放牧地の利用が衰退していく中、放牧地の跡地が荒廃するのを防止するとともに、地域雇用の場としても有効に活用するため、人工林の造成を進めていくこととしました。しかしながら、当時は造林費用の捻出が難しい状況にあり、こうした中で、森林開発公団（当時）が水源林造成事業を実施していることを知り、昭和41年度から昭和48年度にかけて、順次、放牧地の跡地について分収造林契約を締結しました。現在では合計4箇所161.90haにおいて水源林造成事業を実施しているところです。



© OpenStreetMap 協力者 ♪ 審付する ウェBSITEおよびAPI規約

### 分収造林契約地の概要と近年の施業状況

#### 第1050号（大畑造林地）

- ・昭和41年度契約（契約期間150年）、契約面積22.10ha
- ・令和3～4年度に育成複層林下木区域の植栽9.60ha実施

#### 第1501号（ヒタニスリカ原造林地）

- ・昭和45年度契約（契約期間80年）、契約面積87.19ha
- ・令和4～5年度に搬出間伐13.22ha実施

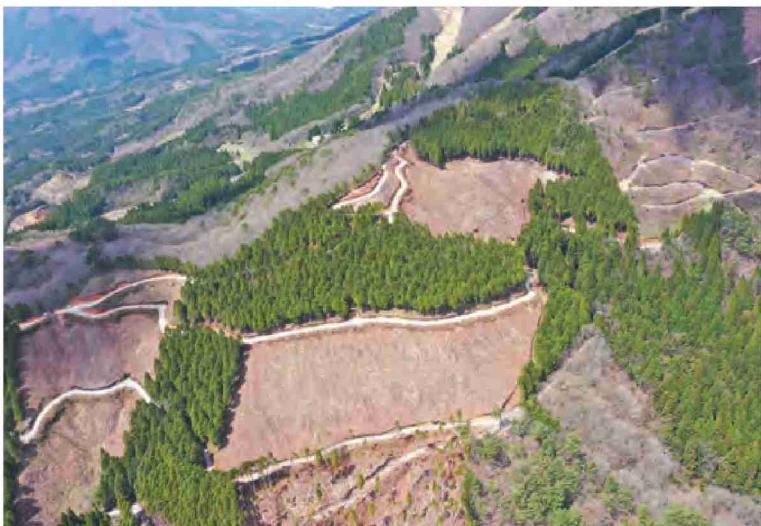
#### 第1624号（スカマヒナ造林地）

- ・昭和46年度（契約期間150年）、契約面積27.69ha
- ・平成26～27年度に搬出間伐24.13ha実施

#### 第2022号（ハナレオク造林地）

- ・昭和48年度（契約期間150年）、契約面積24.92ha
- ・令和4～5年度に更新伐14.00ha実施

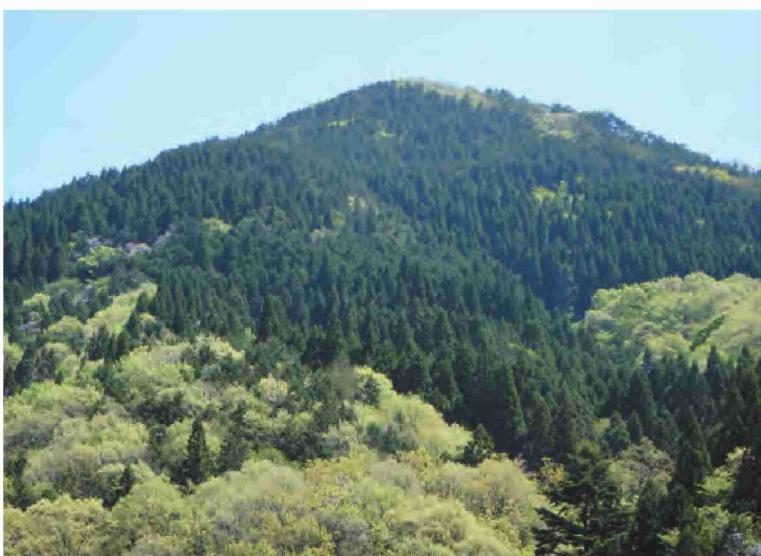
# 森林整備の取組と今後に向けて



第1050号契約地での育成複層林造成の状況（更新伐後）



第1050号契約地の伐採箇所の様子（植栽後）



第1501号契約地の遠望

契約地の多くは、土地所有者と造林者を成地牧野農業協同組合とする二者契約であり、契約当初は、同組合の組合員が主業である農業や子牛販売等の傍ら、植栽や下刈・除伐等の保育作業を自ら実施していました。その後、組合員の高齢化や後継者がいないことなどにより、組合員数が減少し労務の不足に悩まされることとなりました。

こうした中、組合員の中で建設業を営んでいた有限会社小田工務店が、山腹工事を施工したことをきっかけに林業分野に新規参入し、作業に係る連絡調整等も円滑に図れることから、平成4年度の搬出間伐から、同工務店に施業の実施をお願いすることとしました。

契約地での森林整備については、近年、育成複層林の造成が中心となっており、同工務店は、令和2年度の育成複層林造成に係る立木販売の購入をはじめ、令和3年度及び4年度の更新伐事業、令和4年度及び5年度の搬出間伐事業等を継続的に実施しています。

なお、同工務店では、現在、建設、林業（素材生産）、運搬（石灰石）の3部門を中心に事業を展開していますが、5年ほど前から森林整備に係る事業を重視してきており、フェラーバンチャ、ハーベスタ、フォワーダ等の林業機械を自己資金で導入し、契約地の森林整備はもとより、おかやまの森整備公社有林、新見市有林等の事業も積極的に実施しています。また、令和3年度には、林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく認定事業体に認定され、雇用管理の改善や事業の合理化にも取り組むなど、地域の中核的な林業事業体となっています。

成地牧野農業協同組合と有限会社小田工務店との連携の取組を通じて、契約地の森林の適切な整備はもとより、事業の実施を通じた雇用の確保など、地域振興の側面でも大きな効果が生まれています。

育成複層林の造成技術の普及を進めていく中で、同地区での取組は地域において先進的なものとなっています。引き続き育成複層林の造成を進めていくことで、地域の森林づくりに貢献ていきたいと考えます。

## 有限会社小田工務店の森林施業の実行体制

創業	昭和46年1月1日（平成4年2月26日法人設立）
従業員数	22名、うち林業部門8名
所有林業機械	ベースマシンは0.25クラス フェラーバンチャ2台（うち1台はベースマシン0.45） ハーベスタ1台 ザウルスロボ1台 グラップル2台 フォワーダ2台
運材用トラック	10トン1台、7トン1台

# 地域の豊かな森林を未来に残すために

契約地の土地所有者・造林者である成地牧野農業協同組合 組合長 小田正廣さん、森林整備の担い手である有限会社小田工務店 代表取締役 小田英二さん、林業部主任 上田学さんにお話を伺いました。



左から (有)小田工務店 林業部主任 上田学さん  
成地牧野農業協同組合 組合長 小田正廣さん  
(有)小田工務店 代表取締役 小田英二さん

## Q 水源林造成事業に携わられて感じられている点は？

成地牧野農業協同組合では、平成23年と平成30年に契約期間を順次延長し（45年→90年→150年）、長伐期・育成複層林を指向しました。昨今、山の現況を知らない者が増加し、将来、所有地の管理を誰に任せるかが課題となっていた中、森林整備センターから更新伐の説明を受け、管理面での不安が解消できることを知って真っ先に手を上げました。

森林整備センター、施業の実施を担っている有限会社小田工務店、成地牧野農業協同組合の3者が連携して森林整備を行うことにより、少なくとも150年間は山が荒れないことが土地所有者にとって最大のメリットを感じています。

## Q 育成複層林造成のメリット・デメリットは？

地域の主要樹種であるヒノキの間伐はかかり木が生じやすく、危険が伴いますが、更新伐はかかり木が生じにくいため、危険性も少なく、効率的かつ安全に作業を進められることがメリットと感じています。

一方で、林地残材の処理については、更新伐で生じた末木枝条は搬出されないため、今は植え付けに邪魔にならないように路肩に万遍なく棚積みしており、この処理が今後の課題と考えています。

このほか、更新伐では出材量が多くなるため、尾根部に数カ所ストックポイントを作設できるとよいと思います。また、現在の路網は2.5m～3.0m幅員ですが、林業機械が大型化する傾向にある中、作業時の安全確保のためもう少し幅員を広げた規格で作設できるようにしてもらいたいと思います。

## Q 森林整備センターに期待する点や今後の地域の森林・林業の方向性は？

成地牧野農業協同組合では、組合員が減少し地域で山を知らない者が増加する中、水源林造成事業を通じて、山の手入れに必要なサポートが受けられています。引き続き、契約地の適正な管理に向けた取組を期待しています。

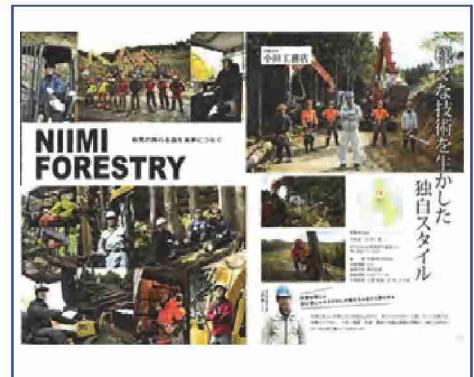
地域の森林・林業に関しては、行政が先頭にたって、荒れた山を集約化し、間伐・更新伐を行い、山を活かしていくければ、所有者には山の整備、事業体には仕事の確保、地域にとっては人も集まることとなり各者にメリットが生じます。

幸い、新見市では、森林環境譲与税の取組が推進される中にあって、市内の林業事業体から100人程度が参加する「新見市林業担い手対策協議会」が設立されています。現場での作業技術の情報共有や相互交流がなされており、新見市も県南部や東京等でPR中です。若い人が地域や林業に参入する環境整備につながるものと考えています。

今後、この協議会の枠組みも活用しながら、地域の森林・林業の発展に寄与していきたいと考えていますが、一事業体だけの取組には限界があります。森林整備センターには、地域づくりの視点からも、安定した事業実施等を通じた後押しをお願いしたいと思います。



第1501号契約地での搬出間伐の実施状況



「新見市林業担い手対策協議会」パンフレットに掲載された(有)小田工務店の紹介記事